



広報

うまじ

第274号

平成25年12月1日発行



馬路村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



ゆずとりボランティア

11月18日に実施(馬路中学校生徒)

対話と実行行脚	2
就任のごあいさつ・環境コラム	3
おらが村の学校便り	4・5
平成24年度決算について	6
山師達人選手権・協働の森づくり事業	7
議会だよりNo.134	8・9
馬路村診療所通信 ~今日はどいうたがで?~	10

目次

ねんりんピック・馬路村俳壇	11
赤ちゃん万歳・ふるさとへの便り	12
ションタイム	13
安田川散歩 (4)	14・15
お知らせ	16
行事予定表	17
村内あちらこちら・村のできごと	18

尾崎知事

村民とふれあう



対話と実行行脚

知事が地域に足を運び、対話を通じて地域の実情を把握。それを県政に反映させ、官民協働の県政を一層推進させる目的で、10月17日、18日に馬路村を訪れました。



魚梁瀬地区住民との意見交換会 (知事発言の一部抜粋)

○魚梁瀬地区の感想

千本山に登り、展望台まで行った。やはり素晴らしい。この森林資源は高知の宝であると実感した。森林鉄道も乗り、厳しい状況の中でいろいろ持てるものを活かして工夫していることも感じている。

○林業の話題に移ると：

林業は力を入れている。おおよそ製材のスタートや高知県主導で木を組み合わせてつくる構造物(CLT工法)の技術開発をしている。日本でも確立できれば、木を劇的に使うため、もつともつと木を使う取り組みを進めたい。中山間を本当に元気にするためには、林業だと思うので、長期展望をもって進めていく。

○専門学校卒業後、地元に戻ってきた女性参加者から「働き口が少ないため、地元に戻ってくるのも難しい」との意見には：

産業振興計画の中で、女性の起業を応援するプランを来年作る。うと思っており、働く女性を応援する施策を強化したい。働く人の数が減り、高齢者の方が増えているから、もう少し高齢者の皆さんに長く働いていただくことと女性にもっと働きやすい環境をつくること、この2つが大事。

○「山間部で土砂災害があった場合の県の対策」については：

東日本大震災の発生後、全速力で対応してきたのが、海側の津波対策。今まで考えていたレベルでは足りないということが明らかになったから、大急ぎで取り組んでいる。

土砂災害について、治山事業も有効だが、危険箇所を明確にし、速やかに逃げる体制づくり・計画づくりが一番効果的な取り組みであるため、県下に広げていくことに力を入れていこうと思っている。対策の幅を広げ、土砂災害への対応の取り組みを加速したい。治山事業も引き続き行いが、土地の地形状況をふまえて、しっかりとプランとして練っていく取り組みをしてやっていきたい。

○専門的な病気や命に関わる事態など、診療所では対応できない病気に對する不安意見には：

できるだけ近くに、東部、西部それぞれに脳梗塞などでも一定対応できるような病院をつくりたい。東部では、中核病院ができていなかった。安芸病院が課題。二次救急までは、安芸病院で診られるように建て替えをしている。CTなども旧式ではなく良い機材を導入し、またドクターヘリ対応もできるようにするなど、いろいろな取り組みを進めている。



▲役場前バス停留所にて

『すごい、あつたかさ徹底している』

あいさつの証拠に 知事の名刺!

『待ちよったぞね、正直知事』を下げたかかしを見て：

その他訪問先

- * 馬路村ふるさとセンター
- * デイサービスセンター
- * 馬路保育所
- * 馬路診療所
- * あつたかふれあいセンター
- * エコアス馬路村
- * 魚梁瀬森林鉄道
- * 近自然工法施工箇所
- * JAゆずの森加工場

就任のごあいさつ

平成25年10月20日、再任で副村長に甫木康德氏、21日から、新しく教育長に清岡明德氏がそれぞれ就任しました。村行政に力強い風を吹かせてくれることを期待します。



【副村長】
甫木 康德
(59歳 影)

このたび馬路村副村長に再任され、改めて身が引き締まる気持ちです。

さて馬路村では公共事業の前倒しなどにより、公共施設の耐震化や情報基盤整備、簡易水道の改修などハード面ではかなり進めることができました。

しかし、基幹産業の振興や高齢者福祉、脆弱な主要地方道など多くの課題が山積しています。



【教育長】
清岡 明德
(56歳 相)

平成25年10月21日に教育長に就任をいただきました。今、馬路小中学校の児童生徒は45人、魚梁瀬小中学校は19人となっています。

学校現場では、現在、複式学級が多くを占め、学校体制は小中一貫教育を行っています。馬路村は少子高齢化が顕著に表れ、学校現場も今から将来の計画を立てなければいけないと考えています。

馬路村は村内の方は顔見知り、各地区単位では隣近所が支え合いながら生活をしています。

特に、本村の人口は、平成23年8月末に千人を割り、25年10月末では967人となっています。定住対策や少子化対策は喫緊の課題であり、どう取り組んでいくのか大きな転換期を迎えていると考えます。

また、必ず来るといわれている南海トラフ地震に対する木造住宅の耐震化などの備えも急がなくてはなりません。

上治村長のもと、職員と協力して村民の皆さま方とともに、知恵を出し合い、工夫を凝らしながら、「安全で住みやすい村づくり」に取り組みでまいりますので、なにとぞよろしくお願いたします。

その特徴をいかして、教育委員会では児童生徒の教育を、馬路村は二つの家族という考え方で、馬路の子どもは村民全体で育てるようなことができないか、そのために村民の皆さまにどんな協力をしていただければか、具体的に方策を考えながら進めていきたいと思います。村民の皆さまとふれあうことにより、人間の醸成やふるさと意識の高揚になり、次の世代を担う子どもが育つと思います。非力ではありますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

人事（10月21日付）

【総務課長】木下 彰二（健康福祉課長から）

【健康福祉課長】清岡 隆（議会事務局局長から）

【議会事務局局長】高橋 弘江（教育委員会から）

環境コラム

日本で最も美しい村へ

アユを取り戻せ！ 近自然工法の取り組み

今年もアユ釣りのシーズンが終わりましたが、釣果はいかがでしたか？

例年より形は小さかったかもしれませんが、数が多く、楽しむことができたのではないのでしょうか。今回は、安田川のアユを守る村の取り組みについて紹介します。

安田川のアユは、過去に全国利益鮎大会で2度のグランプリに輝いた実績がありますが、近年、アユ漁獲量の減少が問題となつていきます。

原因

一つとして考えられるのが安田川を取り巻く環境の変化です。特に、山腹の崩壊と流量の低下に伴う土砂の流入と堆積により、魚の休息場・餌場となる深み（淵）が少なくなつていきます。

かつての安田川の姿を取り戻す

コンクリートを使わず、伝統的な石組みだけで魚が住みやすい環境を再生する近自然工法に取り組んでいる福留脩文さんの協力を得て、2007年に村内土木業者農協などがボランティアでゆずの森の前に水制工（川の直線的な流れを蛇行させるための構造物）を造り、水の流れて小さな瀬と淵を再生させました。

生物調査の結果

水制工設置直後は、ほとんど魚がいなかった石積みの中に、数十匹のアメゴが集まっていました。

安田川の河川環境改善に取り組み

「安田川を美しくする馬路地区村民会議」が中心となり、水制工や分散型落差工（川の勾配などを安定させるための床止工のうち、低落差の石組みを河床に分散して配置する工法）をゆずの森前やエヤノマキ淵に設置。魚が生活しやすい環境は着実に再生されつつあります。

しかし、まだまだ昔の安田川の姿には程遠く、原因である土砂の流入を防ぐための山林保全にも取り組むべきことがたくさん残っています。

日本一のアユが住む安田川を――。安田川を守る取り組みはこれからも続きます。



エヤノマキ淵の様子。川の中央に土砂が堆積し、ヨシが生えています。（2009年8月撮影）



水制工を設置した後のエヤノマキ淵の様子。水制工で川の流れを変えて、淵が形成されています。（2012年7月撮影）



おらが村の学校便り ②6

馬路村では、10年あまり前から馬路地区と魚梁瀬地区の児童・生徒がともに学習し活動することによって、村の一員としての仲間意識を育てたり、多様な学びを経験させたりする「合同学習会」を行ってきました。

今年も、馬路小学校（22人）へ魚梁瀬小学校（9人）の児童が、また、馬路中学校（23人）にも魚梁瀬中学校（10人）の生徒がやって来て、日頃とは違った雰囲気での学習をしました。



「馬路小・魚梁瀬小合同句会」
お気に入りの句に手を挙げて…

そして2時間目には、1～6年生全員で句会をしました。そう、みんなで五七五の俳句を作ったのです。



「十字王様ジャンケン」の決勝戦
さて、どっちが勝ったかな？

1時間目には、集会室に全員が集まり、ゲームや自己紹介で心とからだをほぐしました。

小学校では…

馬路村内 小中学校 合同学習会

ところで、句会のお題ですが、馬路の秋と言えば、やっぱり「ゆず」ですね。そこで、ゆずにちなんだ俳句を1人2句作り、みんなで投票しました。その結果、一席（等賞）には、「ゆずのすし 食べたいなあ おばあちゃん」が選ばれました。

3時間目以降は、学年によつてさまざまでしたが、体育など多人数でやることで楽しさが増すような学習や、道徳や図画工作のように多様な考えやアイデアを発表し合うような学習をしました。



3～6年生合同の体育
「テニスボール」



3～4年生合同の道徳
「お父さんの仕事」



1～2年生合同の木工教室
これがわたしの「キノピオ」

児童の感想

◆ぼくは合同学習会でキノピオを作りました。のこぎりを初めて使いました。すぐ切れました。楽しかったです。手をつけるのに時間がかかりました。名前は「キノピオぎよぎよぎよ」にしました。「できたあ」と心の中で言いました。

◆道徳では東日本大震災のことを勉強しました。小学生のわたるくん（気仙沼市大島小学校）が、みんなのお手伝いのできてえらいなあと思いました。

◆一番に心に残っているのは、みんなでテニスボールをしたことです。体育は3～5年生ですることあるけれど、魚梁瀬小の3～6年生もいっしょになってたくさん人数でもり上がって楽しかったからです。団結力が強いなあと思うことができました。他のことも楽しくて仕方ありませんでした。来年の合同学習会もがんばります。

中学校では…

1 時間目は、体育館で自己紹介やゲームをしてウォーミングアップをしました。

2 時間目は、英語・国語・社会科と各学年違った教科でした。それぞれの学年で、馬路中学校と魚梁瀬中学校の2人の先生に教えてもらいました。

3・4 時間目は全校合同で音楽と体育をしました。音楽では「Tomorrow」を男女でパートに分かれて合唱し、体育では「アルティメット」というフリスビーを使ったゲームをしました。



33人で“大カルタ”大会



1～3年生合同の音楽
33人で「Tomorrow」を合唱



3年生の社会科
「ご当地のキャラクターを作ろう！」



1年生の英語
「基本文を完成させよう！」

生徒の感想

◆一番心に残っていることは、やっぱり両校の合同合唱です。普段ではできない大人数での合唱は、歌っているととても気持ちよくて、感動しました。特に、男子の低音パートが力強く、女子の声の方が大きい魚梁瀬では体験したことのない未知の領域（ハーモニー）でした。小さな村の学校でも、2つ集まれば、これほどのことができるんだと改めて思いました。

◆今日の魚梁瀬との合同学習会では、たった1日と短かったけれど、いっしょに社会科でキャラクターを作ったり、普段できない多人数での合唱ができたり、協力して体を動かしたりと、本当に楽しかったし、良い交流になったと思います。でも、もうちょっと自分たちが気づいて、魚梁瀬の人たちをもっとリードしていければ良かったと思います。

午後はみんなで音楽鑑賞 シンフォニア・ ホルニステン

シンフォニア・ホルニステンというのは、聞き慣れない名前ですが、日本各地のプロオーケストラに所属するホルン奏者が集まってできた合奏団です。今回は、4人のホルン奏者が集まってホルンの四重奏を聴かせてくれたり、ホルンの歴史を教えてくれたりしました。



プロのホルン奏者と合唱もしたよ

児童・生徒の感想

◆山でホルンが聞けると思わなかったのが、びっくりしました。きれいな音が聞けてとてもびっくりしました。終わりに「ピリッ」と「世界がひとつになるまで」を吹いてもらってみんなで歌いました。最後にはいろいろなホルンを体験できました。でも、なかなか吹けなかったです。みんなの「がんばれ！あーもうちょっと！」とかいろいろな声が聞こえてきました。楽しかったです。

◆初めは、延々と2時間演奏し続けるのかと思っていましたが、実際は楽器の歴史などを話してくれて、演奏は40分ほどだったので良かったです。意外と演奏も楽しかったし、いい時間でした。



がんばれ！

また、ホルンの音に合わせて合唱したり、昔のホルンを吹かせてもらったりして、よい経験ができました。

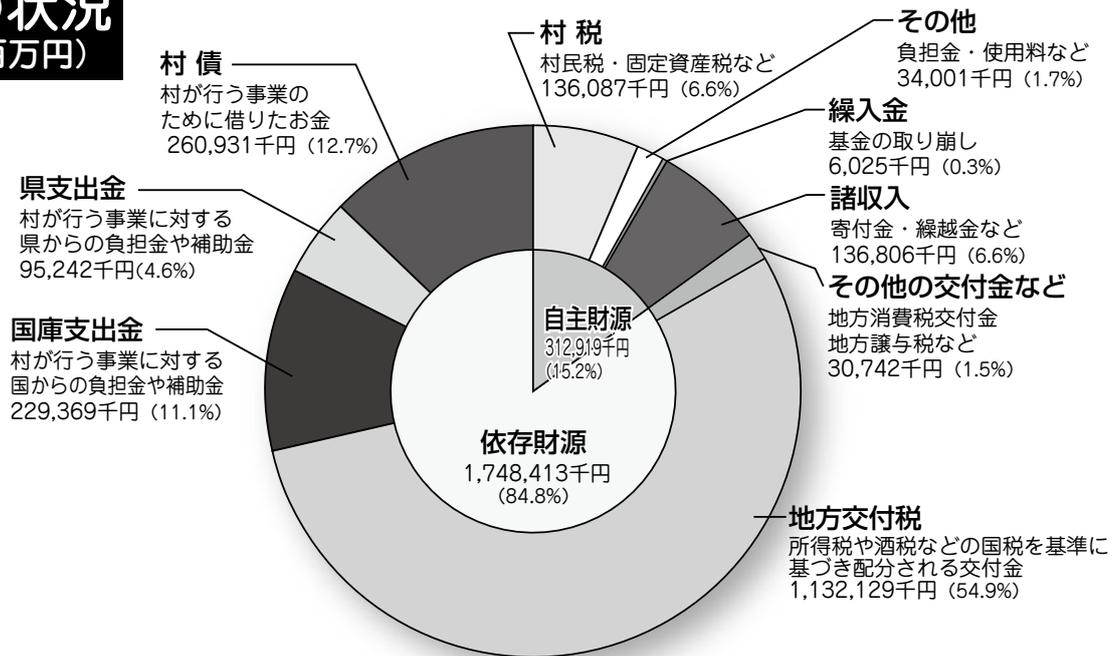
平成24年度村の決算

平成24年度の決算の状況をお知らせします。馬路村一般会計の歳入決算額は、2,061,332千円で、前年度2,227,814千円に比べ166,482千円(7.5%)の減となっています。歳出決算額は、1,958,629千円で、前年度2,117,749千円と比較すると159,120千円(7.5%)の減となっています。

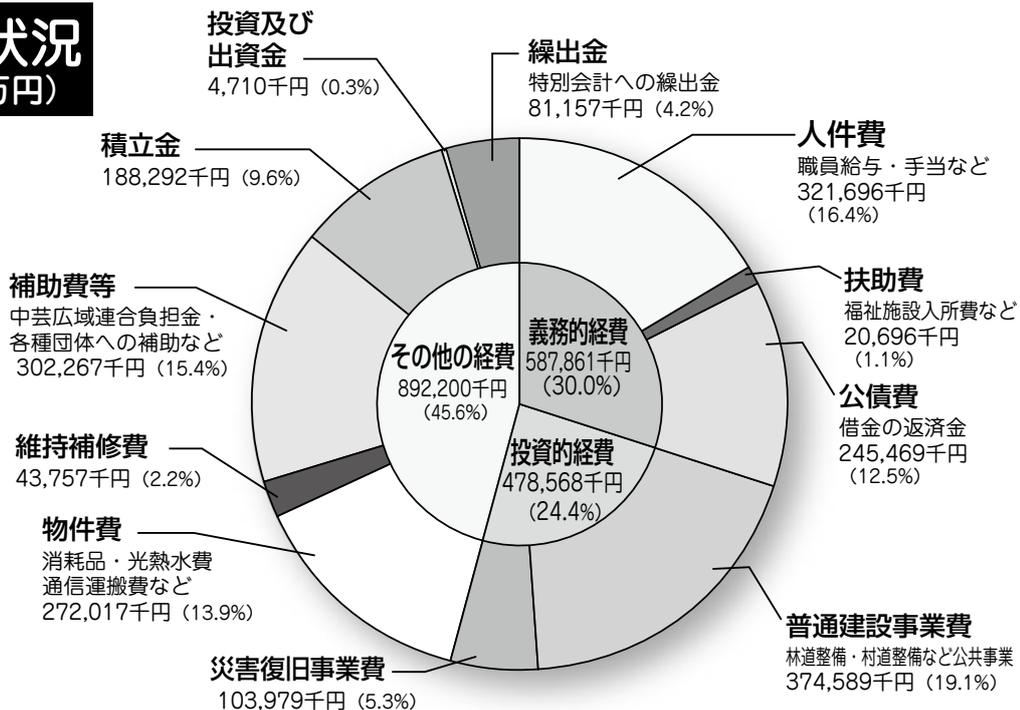
歳入歳出それぞれ減額となった主な理由は、国及び県の補助事業の終了並びに縮小によるものです。

平成24年度一般会計の歳入歳出決算額

歳入の状況 (2,061百万円)



歳出の状況 (1,959百万円)



第21回山師達人選手権大会

地区運動会やねんりんピックで賑わう10月、魚梁瀬丸山公園において「山師達人選手権大会」を盛大に開催しました。

(馬路村林業青年クラブ)

今年はいにくの小雨の中、男性山師12チーム、女性山師5チームの計17チームが参加し、白熱した戦いが繰り広げられました。



▲大会MVPに輝いた木下阿斗夢さん

男性の部では連覇を狙う「エコアス馬路村」が安定した実力を見せるなか、予選上位3チームが3点差以内にはじめく大混戦となりました。今回初結成された「みかけだおし(中芸消防)」は日頃の訓練の成果を発揮し、周囲の予想を大きく上回る予選1位で折り返しましたが、決勝の部で「エコアス馬路村」が本領を発揮し、見事連覇を成し遂げました。女性の部では天候により一部中止された競技もありましたが、「ごつくんミセス」が前大会の雪辱を果たし、2大会ぶりの優勝を勝ち取りました。

また取材に来ていたNHKの女性レポーターが役場・森林連合チームで参加し、本村の林業の振興・活性化への取り組みについてを全国へPRしてくれました。

協働の森づくり事業

パートナーズ協定締結

◆パートナーズ協定式

11月7日、(株)損害保険ジャパン、日本興亜損害保険(株)、日本興亜おもいやり倶楽部、高知県、馬路村による協働の森づくり事業、パートナーズ協定を締結しました。



▶高知県庁にて

本村では平成19年から2期6年にわたり、(株)損害保険ジャパンと「環境先進企業との協働の森づくり事業」に取り組んできました。6年間で31haの間伐を馬路村森林救援隊に委託し、延べ1,039tの二酸化炭素削減に貢献していただきました。

このたび、平成26年9月の(株)損害保険ジャパンと日本興亜損害保険(株)の合併を迎える中で両会社から新たに本村と3年間の協定を結びたいとの意向を受け、一層の間伐推進などに取り組んでいきたいと考えています。

◆交流イベント

本協定に基づき、11月10日両会社を迎え交流イベントが開かれました。

当日は雨天により間伐体験とゆず取り体験は中止となりましたが、総勢82人の参加者が集まり、かなば編み体験とミニ山師大会に分かれて交流を行いました。

かなば編み体験は親子連れを中心に作業を行い、木を貼りあわせることで身近な日用品を自分たちで作れることを学んでいただけでした。

ミニ山師大会はチーム戦で丸太切り競争を行いました。慣れない作業に苦戦しながらも白熱した戦いで会場をわかせてくれました。

ゆず取り体験はできなかつ

たものの、帰りには農家で取れたゆずを持ち帰りいただき、参加者から喜びの声を聞くことができました。

本村は電源開発(株)とも平成18年から5年間の協定を結び、魚梁瀬地区の間伐推進を行つています。来年3月には交流イベントも予定しています。

各社が掲げる地球環境問題への対応が本村の森林整備の取り組みを一層推進し、村の林業振興につながる活動を継続していきたいと考えています。



▲就業改善センターにて

議会だより

No.134

9月定例会

平成25年9月定例議会は、9月5日から11日までの7日間の会期で開催された。5日は、諸般の報告に続いて、財政健全化指標の報告を1件審議した後、平成24年度決算の認定議案6件及び補正予算などの6議案の提案説明が行われた。6日から9日までは、議案精査のため休会。10日は、2氏が一般質問の後、議案の審議、採決を行い、平成24年度各会計決算の認定や平成25年度一般会計補正予算、議員提出議案や意見書など9議案を可決し、会期を1日繰り上げて閉会した。

一般質問

一般質問には、2氏が立ち、次のとおり質問を行った。
(質問趣旨、執行部答弁要旨)

問 山中隆 議員

美しい村として安田川のある馬路村は、「日本で最も美しい村連合」に加盟し、相名地区は、「日本の里100選」にも選定された。

仁淀川が日本一美しい川として取り上げられているが、安田川がどうして日本一になれないのか。

安田川を美しくする村民会議や村内一斉清掃、各団体や個人による清掃活動なども行われているが、美しい村づくりに対する方策について問う。

答 村長

仁淀川は、全国に109ある一級河川の水質状況調査により平均的な水質が最も良好な9河川のひとつで、町をあげてPR活動をしているところから、日本一美しい川として選定されている。

安田川は、二級河川であり公表の対象でないが、村において、毎年水質検査を行い、非常に良好であると

の結果を得ている。

美しい村づくりについては、村の資源として千本山の「橋の大杉」、朝日出山の「大杉」、国の重要文化財に指定された旧魚梁瀬森林鉄道、日本の里100選に選定された相名地区など多くの資源がある。

「日本で最も美しい村連合」に加盟し、美しい村を宣言することにより自らの地域に誇りを持ち、将来に向けて美しい村づくりを展開し地域の活性化を図っていく。

また、今回の予算計上において、各団体、企業に協力を得て事務所に花を植える計画をしている。

ハード、ソフトあるいは景観の面からも来年度に向けての計画を立て、長期にわたり一過性にとどまらないうよう地域住民へ浸透していく取り組みを行う。

問 山中隆 議員

重要な問題となっている「いじめ」問題の取り組みについて問う。

答 教育長

馬路小・中学校の取り組みとしては、互いの意見、考えを相手に伝え理解し合うよう指導しており、また、学級活動や帰りの会な

どで一日の振り返りや嫌な思いを抱えたまま帰宅する事が無いよう指導している。

平成25年6月28日に公布された、いじめ防止対策推進法により学校に対しては、「いじめ防止基本法または地域いじめ防止基本法」を参酌し、学校の実情に応じた同様の基本的な方針の策定を求めている。

いじめはいつでもあるという認識で取り組み、子どもから発信されるものや様子を軽微なものとは判断せず、いじめは絶対許さないと非常に重大な問題と受け止めて取り組んでいく。

問 山中隆 議員

全国学力テストについて、結果報告が公表され、県教育委員会の考え方、指導方針などは理解できたが、村の方針、結果について問う。

答 教育長

全国学力テストが始まり7年目になる。本村では、最初の3年は全国より低いものが多かったが、4年目からは全国平均をほとんどの教科で上回ってきた。

今年は今教科で全国平均以上となっている。高知県においても小学生が全国一

位の伸び率で高く評価された。

全国的それから県内でもすでに一部の市町村や学校が公表している現状があるが、馬路村としては、児童生徒数の減少があり発表は各学校の成績にとどまらず、個人の成績発表につながるため公表はしない。

テストの目的は弱点を把握し指導することである。県教育委員会では全教員が問題を解くように要請しており、問題の意図や教える課題について教員自らの改善につなげることが重要であることから全国と比べる必要性はないと考える。

問 山中隆 議員

プールの管理についての責任者、また事故に対する方策について問う。

答 教育長

施設の管理については、村が設置しているので管理は村が行っている。

夏休み中のプールの運営については、各PTAが事業計画に位置付けており、教育委員会からは、PTAに水泳監視負担金を出している状況である。

そのため管理はPTAに委任という方法で行っている。

PTAでは、重大な事故が起らないよう監視員の3人体制やAEDを含む救命講習の受講など実施し、子どもの命を守る重大な責務がある意識を持ち行っている。

小雨でも雷が鳴った場合は、直ちに中止するなど、万一の事故に備えており適切な運営がされている。

問 皆津由理 議員

母子保健・児童福祉について、子育てや小学校就学に向けての連携など地域でできる体制づくりが必要である。

本村では、「ひよこクラブ」などで子育て支援を行っているがその活動内容や今後の方針を問う。

答 村長

少子化全般については全国的な課題であり、内閣府の中に少子化・社会対策会議を設置し県下、全国市町村等連携をして対応している。

子ども・子育て関係、関連三法に基づき平成27年度から子ども・子育て支援の新制度がスタートする。新制度の1点目として、幼稚園と保育所の良さを併せもついわゆる「認定こども園」の普及、質の高い幼児

期の学校教育・保育を総合的に提供すること。

2点目に核家族や高齢化、地域での人間関係の希薄化など家庭や地域での子どもを育てる力の低下を補うために地域のニーズに応じた多様な子育て支援、子育ての相談や一時預かりの場を充実させる。

3点目は、都市部では待機児童の存在があるが小さな町村、郡部においては、地域型保育給付により保育施設の安定的な運営を支援していく。

その3点を主な新しい制度としてスタートさせていく。

馬路村版の制度では、保護者の方に対してアンケート調査を予定しており、中芸広域連合との連携を図ることも必要であると考えている。

答 健康福祉課長

現在の村の子育て支援の事業は、大きく分けると保育所に入所している乳幼児に対するものと入所をしていない乳幼児に対するものがある。

入所していない乳幼児に対しては、子育て広場として0才児からを対象に馬路地区では概ね週1回程度行い、魚梁瀬地区では対象者

が1名のため現在行っていないが馬路・魚梁瀬の交流会を年1〜2回開催している。

それにより、保護者同士の情報交換や子育ての不安、疲れを相談できるとの声があることから子育てをする環境の体制づくりは一定できていると判断している。

今後、交流回数を増やすことについては、魚梁瀬支所と健康福祉課との連携を持ち、保護者の方と相談しながら努めていく。

児童に対しては、就業改善センターで午後3時半から5時半まで放課後子ども教室を行っている。

27年度から子ども・子育て支援の新制度スタートに向け地域で子育てをしやすい環境を整えるため保育所、小学校の保護者にアンケート調査を実施し、平成26年度には保護者、地域住民での組織を立ち上げ子ども・子育て計画を作成していく。



議案と審議結果

9月定例会で審議された議案等については、すべてが可決された。主なものは次のとおりである。

●平成24年度馬路村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

▼財政状況を示す各指標は基準値内で健全と報告。

●平成24年度歳入歳出決算の認定（一般会計及び特別会計5件）

●平成25年度馬路村一般会計補正予算（第3号）

●平成25年度馬路村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

●平成25年度馬路村簡易水道特別会計補正予算（第1号）

●平成25年度馬路村診療所特別会計補正予算（第2号）

●平成25年度馬路村介護サービス特別会計補正予算（第1号）

●平成25年度馬路村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

●議員派遣の件について
▼議員研修会等への派遣を決定。

意見書

意見書2件を採択し、国の関係機関へ提出した。

●森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書

●道州制導入に断固反対する意見書

第5回臨時会（10月16日）

第5回臨時会では同意議案2件と補正予算2件が提出され、いずれも同意、可決され閉会した。

●副村長の選任

●楠木康徳

昭和29年10月23日生

大字馬路424番地

●教育委員会委員の任命

●清岡明徳

昭和32年11月30日生

大字馬路2238番地1

●平成25年度馬路村一般会計補正予算（第4号）

●平成25年度馬路村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

馬路村診療所通信

～今日はどういたがで？～



木々の葉も色づき、いよいよ寒さも増してきました。ゆずのお仕事などで皆さまお疲れのことと存じます。体調にはくれぐれも気をつけてくださいね。今回は、“風邪”についてのお話です。

ひと言に“風邪”といっても、さまざまな病気があります。例えば、インフルエンザも“風邪”の一つですし、肺炎も“風邪”がひどくなったものと言えます。

“風邪”の原因

細菌とウイルスの大きく分けて2つがありますが、9割以上はウイルスといわれています。その種類はなんと200種類を超えるといわれており、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み・せき・たんなど、症状もさまざまです。

特にこれからの時期はインフルエンザウイルスやノロウイルスなど、症状の強くでるウイルスが元気になる季節です。

うがい手洗い、マスクエチケットなど、これまで何度も聞いてきたよ～ということが実は一番の予防ですので、こまめに行うようにしてくださいね。

けれども、残念ながら病気にかかってしまうこともあると思います。つらい症状が出るのはどうしてでしょう？これは身体が健康な状態に戻ろうとして、ウイルスや細菌と闘っている証拠なのです。

鼻水は鼻の粘膜を守ろうとして、せきはウイルスや細菌の混じった痰を吐き出すため、熱は免疫の力を強めるために身体が反応しているから…つらい症状は、実は身体が懸命に闘っている証拠ともいえます。



うがい手洗い、マスクエチケットが一番の予防



ですから、症状と上手に付き合っていくことが大事なのです。ただし、過度の発熱（39℃以上）が長く続くと身体がばててしまいますので、ある程度下げてあげることも大事です。

治療

一番は安静にして体力を温存することです。しんどくない範囲で日常生活を送ります。部屋は20～25℃くらいに保温し、加湿器などで保湿するといいです。そして十分な水分をとり、たんぱく質やビタミンC、ビタミンB群などの入った食事をとるといいですね。せきやくしゃみ等の症状に対しては、市販薬や医療機関のお薬を使うと、体力の消耗を抑えることができると思います。

なお、抗生物質（抗菌薬）は細菌に対して使う薬で、ウイルスには効果がありません。ウイルスの場合には、風邪薬を使って症状を抑えつつ免疫の力で治るのを助けます。インフルエンザに関しては近年増殖を抑える薬が出ていますので、以前に比べると早く治すことができると思います。インフルエンザかな？と思ったら、ぜひ相談してくださいね。

これからさらに寒くなってくると思いますが、皆さんが元気に過ごすことができるように努めますので、よろしく願いいたします。



ねんりんピックは、ふれあいと元気のある長寿社会をつくっていくことを目的とした健康福祉生きがいがづくりの祭典です。

今年、高知県が開催地となり、県内各地でスポーツや文化の交流大会に、60歳以上の選手が全国から参加されました。



第26回全国健康福祉祭こうち大会
ねんりんピックよろい高知2013
長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流

バウンドテニス交流大会開催

中芸5カ町村では、10月26日(土)から28日(月)の3日間、中芸広域体育館で開催されました。

前日までの台風27号の影響にもかかわらず、開始式に元気な姿を見せた参加者は30府県、選手・監督総数219名で3日間の大会に汗を流しました。

大会を盛り上げたスタッフの活躍

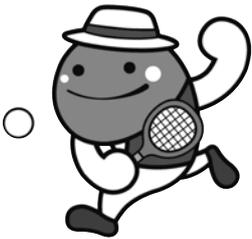
開始式では、馬路小学校と魚梁瀬小学校を含む管内7校の児童が、参加県のプラカードを持って選手を先導し、本県の選手団が入場すると大きな拍手がわきおこりました。

競技の開催中には、おもてなしコーナーが体育館前駐車場に設置されました。ここでは、お茶やコーヒータなど飲み物の提供ほか、中芸各町村のヘルスメイトたち(馬路村のヘルスメイトを含む)が地元食材を使った汁物を作り、選手や観客の人たちを喜ばせていました。

また、健康づくり団体の指導によるいきいき百歳体操などの健康づくり教室には、選手・観客の皆さまによって盛況に開催できました。



多くの皆さまの協力のもと、全国から集まったかたがたに、精いっぱいのおもてなしと大会が無事終了することができましたことを心よりお礼申し上げます。
～中芸実行委員会～



馬路村俳壇

霜月や猛暑に瘦せし柚子を取る 猿除けの冬の花火を求め来る	山崎喜久子
京都御所ぎんなん拾う親子かな 哲学の道の紅葉を踏みゆけり	松浦 陽子
年金の減額通知もずの声 雑木山色づきはじめ七五三	宮崎さくら
休日の二日欲しきや神の留守 若かりし頃のセーター中に着る	上村 千代
穂田とコスモス畑のマスゲーム ねんりんピック終りし街や浮寝鳥	久武 典江
湯気しろく立つ蒨の重たかり 野ぶどうにビー玉の色重なれり	矢野しげを
さざ波の水面に映る夕紅葉 冬日さす廊下の先のさつま芋	福島 由子
土塊 <small>つちぐら</small> にヒッヒッカツカッ尉鶴 <small>じゆうかく</small> 俯 <small>うつむ</small> きて咲く茶の花盛りなり	氏原 淑
天高し石の風車のまはり出す 杖つくはまだ恥かしく野菊晴	池 蘭子
台風の眼のなかにもる昼の飯 秋鯖やそれでも原子力ですか	東谷 晴男

赤ちゃん万歳

＊パパ・ママといっしょ＊



こんにちは。

私の名前は、桜音りのといいます。

パパとママが好きな花で、生まれたときが桜でいっぱいだったので、パパとママがつけてくれました。

遊んだり、お話しするのが大好きだけど、パパがすぐくっついてくるのが、ちょっと嫌なときがあります。

最近はママがご飯を作ってくれるけど、パパとママと
同じご飯を早く食べられるようになります。

どこかで見かけたら、話しかけてくださいね。
これからもよろしくお願ひします。



りの
安養寺桜音さん (東川)

平成25年4月12日生

さとみ

(保護者 安養寺史一さん・聖未さん)



ふるさと の便利47

馬路村の皆さん、こんにちは。

私は、今、東京の渋谷にある手技道しゅぎどう
バイオバランスセンターというところ
で、鍼灸師しんきゅうしをしています。

鍼はりを使うこともありますが、多くは
手を使い、人間の本来持っている回復
力を引き出し、自分自身で健康を取り
戻していくことを目的とした施術をし
ています。

馬路村を離れてから、というか、東
京に出てから、もう7年がたとうとし
ていますが、やっと少しずつ患者さん
も増えて忙しい毎日を送らせていただ
いています。

ゆくゆくは、馬路村に帰って施術をし
たいなあとも思うのですが、まだまだ
技術的にも、精神的にも学ぶことが多
くある段階です。

忙しくて、なかなか馬路村に帰れな
いですが、帰るとやっぱりホッとしま
す。自然が残っているところも、今の
日本では少なくなっています。

人は変わるけれど、そういった馬路
村の温かさは変わらず残っていてほし
いと思います。

「ゆく河の流れは絶えずして、しか
もとの水にあらず」鴨長明の方丈記
の一文です。時代の移り変わりが激し
い昨今、変化だけにとられず、変わ
らぬものも自分自身で磨いていきたく
なと思います。



▲手技道バイオバランスセンターにて
「少しずつ患者さんも増えて忙しい毎
日です」

帰るとホッとする
馬路村

東京都
門田

将司まさしさん
(影出身)

ショーンタイム



国際交流員：ショーン・マクドナルド
(ニュージーランド・ウエリントン出身)

皆さん、こんにちは!

皆さんが心配してくれたように、馬路はだいぶ寒くなってきました。これからさらに冷えるみたいで、風邪をひかないように気をつけましょう。

私は10月にハロウィーンにいっぱい参加させてもらいました。影地区PTA主催のハロウィーンのイベントだけではなくて、中芸国際交流団体が主催した、田野町、北川村、それから奈半利町でも行われたハロウィーンパーティーに顔を出しました。およそ1週間にハロウィーンを4回も祝えるのは初めてです！それに、不細工だったのに、子どもたちや大人たちも私の手作りカオナシの衣装を褒めてくれました。ありがとうございます！来年の衣装は今から考えておきます！



▲中芸地区のJETたちと

馬路の人は「私は子どものとき、ハロウィーンがなかったよ」とよく言いますが、実はその点で日本とニュージーランドは同じです。私の母もよく「子どものときにはハロウィーンなんて全然知らなかった」と言います。今のようなハロウィーンは元々アメリカの行事みたいで、正直言えば、馬路に来るまで私もハロウィーンのことを実は詳しく知りませんでした。



▲田野町のALTレベッカと

ゆずの森加工場から漂ってくる香りがゆずの収穫期になったと告げています。とても馬路らしい時期ですね。



▲11月3日ゆずはじまる祭にて

何度も先生や生徒にも「なぜハロウィーンにはジャック・オ・ランタン（かぼちゃのろうそく立て）を作るのですか？」とか「なぜハロウィーンでお菓子をもらうか？」などの質問をされましたが、パソコンで調べるしかないことがいっぱいありました。

ハロウィーンの歴史をテーマとした英会話教室もやって、私はハロウィーンのことをいっぱい勉強できました。私もこのようなハロウィーンを味わえて、異文化に触れることができた気がします。良かったです！

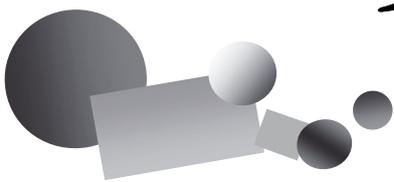
ニュージーランドではハロウィーンはだんだん人気になってきましたが、実は11月5日の「ガイ・フォークス・デイ」という行事のほうが盛んに祝われています。ガイ・フォークスは人の名前で、ニュージーランドとイギリスに住んでいる人の中でよく知られていますが、他の国でガイ・フォークスは誰かわかる人はめったにいません。

1605年、ガイ・フォークスとその一味のカトリック教徒が、時の国王ジェームズ1世と議員たちを殺すために、上院議場の下まで坑道を掘り、開会式の行われる11月5日に爆破しようとしたのですが、寸前で発覚し、首謀者はロンドン塔に送られ、翌年1月31日に処刑されました。この事件を記念するため、ガイ・フォークスと呼ぶ人形を作って、町中を1日中引き回し、夜になって焼きすてる風習が生まれました。現代のニュージーランドには、花火大会を11月5日夜に行います。

年末が近づいてくると、欧米でも日本でもいろいろな個性的な行事があります。日本の伝統的な文化を勉強しながら、ニュージーランドの文化を紹介し続けたいと思います。よろしくお願ひします！

安田川漫歩 (4)

— あの人 あの情景を訪ねて —



文・構成 清岡博之
写 真 安岡一成

安田町別所、北寺（＝廣中宗円住職）の宝物庫には貴重な仏像がならびます。県内で現在、国指定の重要文化財に指定されている仏像82体のうち9体がここに安置されており、まさに仏像の宝庫といえます。

80歳で入滅（お釈迦様の死、または高僧の死）したお釈迦様

安田川沿いにひろがる景色に、私たちはすっかり慣れ親しんでいる。

とはいえ車から一步降りると、目に映るものがなにかしらちがってくる。そんな情景や人をたずねる『安田川漫歩』。今回は安田町北寺の仏像群です。

きたでら

安田町 北寺の仏像群

の姿をおよそ500年後になつてかたどったのが仏像の始まりです。古代インドに実在した、シヤカ族の王子として生まれたゴータマ・シツダルータ（後のお釈迦様）は、まわりの人々が生老病死などで苦しむ姿をみて心を痛め、妻子とわかれて29歳で出家します。苦行のはてに悟りを開いたお釈迦様は入滅するまで、人々に人間としての正しい生き方や、苦しみから心を解放するすべを説き広めました。

お釈迦様の入滅を知った人々はなげき悲しみます。それでもお

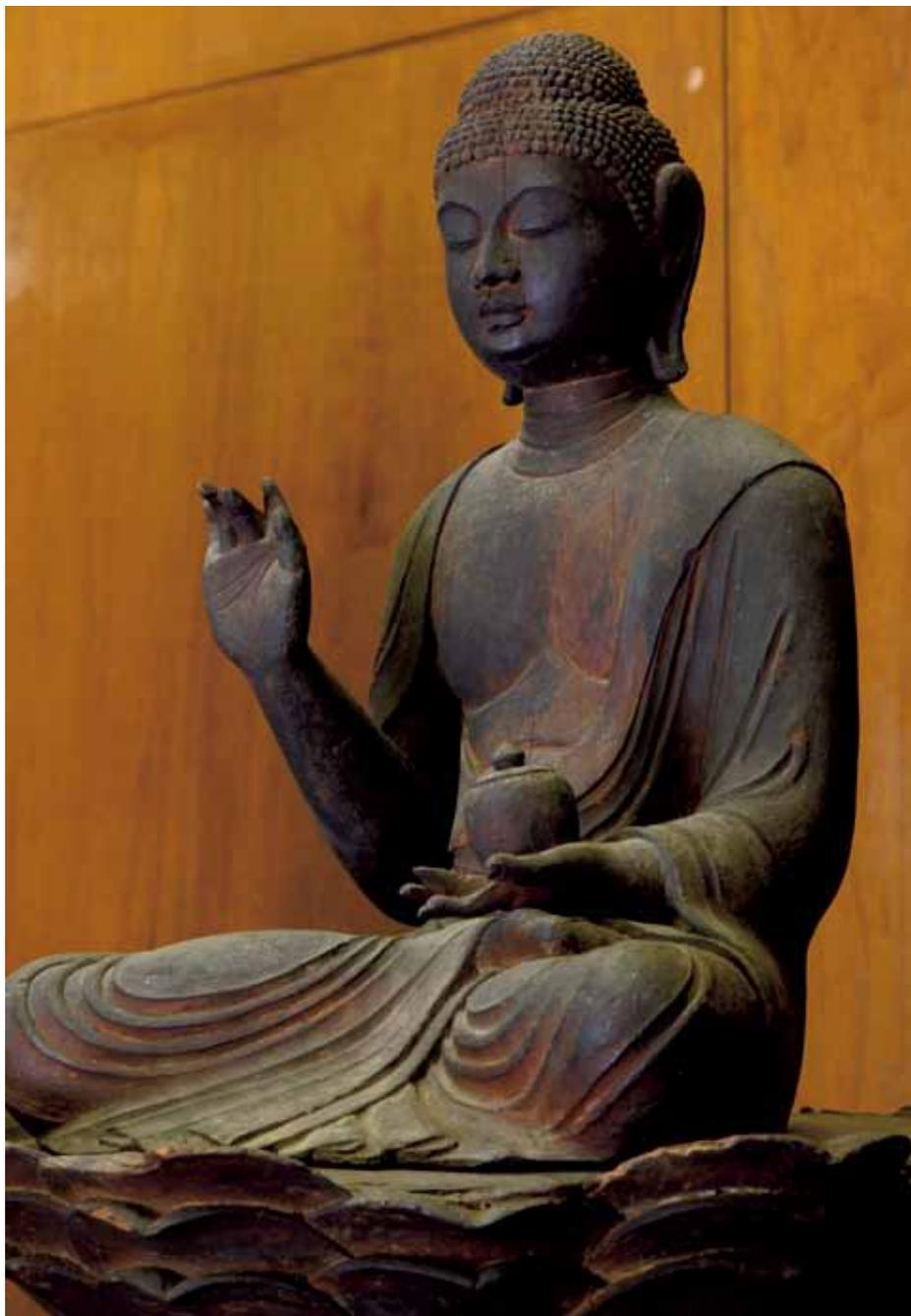
上/増長天と伝わる。東西南北をまもる四天王のひとつ。甲冑を身にまとい中国の武人の姿を模している。当初は鮮やかな色彩が施されていたものと考えられている。平安時代 像高68.1cm



右/県道から寺へあがる石段の参道。上に神社があることから鳥居が建つ。

左/閑静な境内である。手前右が本尊の薬師如来をまつる本堂、左奥樹木の後ろに宝物庫。石塔は石田英吉の記念碑。





左／薬師如来の坐像である。悟りを開き、真理にめざめた者を如来といい、もとはお釈迦様をさしていた。しかし時を経て仏教が多様な展開をみせはじめると、お釈迦様のほかにも如来の存在が説かれるようになってきた。

この像も薬師如来の特徴である薬壺を左手にのせている。細工は力ヤをもちいた一木造で、全体に細身でゆったりとした端正な印象を受ける仕上げになっている。制作年代は平安時代中期、十一世紀後半のころと考えられている。像高49・4 cm

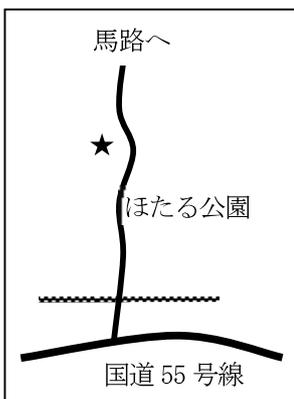
釈迦様があまりにも尊い存在であつたために、その姿を永遠の像としてかたどることは憚られました。しかしながらお釈迦様の存在を身近に感じたいとする人々の切なる願いが、長い年月のあとに仏像となって実現したのです。

北寺宝物庫にはここで紹介した2体のほかに釈迦如来立像、菩薩形立像、持国天立像、天部形立像などが安置されています。

また境内には、安田町中ノ川に生まれ、坂本龍馬の海援隊で活躍し、明治になって高知県など各県の知事を歴任した石田英吉(もと伊吹慶良 周吉)貴族院議員 男爵)の記念碑も立っています。

寺では毎年1月12日、厄除け祈願法要が営まれ本尊も開帳されます。宝物庫の拝観は予約で受け付けています。(TEL0887・39・2171)

〔引用文献〕
「安田町・馬路村の文化財―仏像―」青木淳
高知県地域文化遺産共同調査・活用事業
「仏像の事典」熊田由美子監修 成美堂出版



左/9体の重要文化財指定仏像がならぶ宝物庫内部。中央が薬師如来坐像。右端の白っぽく写るのは県指定文化財の天部形立像2体。

お知らせ

冬に多発、
ご注意ください!

ノロウイルス

による食中毒

— 役場健康福祉課 —

感染性胃腸炎の患者発生は、例年12月中旬ごろにピークとなる傾向があります。この時期に発生する多くは、ノロウイルスによるものと推測されています。

《ノロウイルスによる感染について》

感染経路	症状
(食品からの感染) ●感染した人が調理などをして汚染された食品 ●ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など (人からの感染) ●患者の便やおう吐物からの二次感染 ●家庭や施設内での飛沫などによる感染	(潜伏期間) 感染から発症まで24~48時間 (主な症状) ●吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ●乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

《家庭における予防・注意点》

- 最も効果的な予防方法は手洗いです。帰宅時や食事前には、家族全員が流水・石鹸による手洗いをを行う。
- 貝類の内臓を含んだ生食は原因となりやすいので、高齢者や乳幼児は避けるほうが無難。また、貝類を調理したまな板や包丁はすぐに熱湯消毒する。
- 調理や配膳は、十分に流水・石鹸で手を洗ってから行う。
- おう吐物や下痢便などで汚れた衣類は、他の物と別にして水洗いした後、塩素系消毒剤で消毒する。あわせて、衣類や物品、おう吐物を洗い流した場所も消毒を行う。

国民年金保険料の納付は、前払いがお得です!

保険料をまとめて前払いすると、
保険料がお安くになります。

	1ヵ月分	6ヵ月分	1年分
月々の支払	15,040円	90,240円	180,480円
現金で前納	-	89,510円	177,280円
口座振替前納	14,990円	89,210円	176,700円

※表の数字は、平成25年度の第1号被保険者の場合です。

口座振替で1年間前納すれば、
年間3,780円の割引!

また、月々支払いに行く手間も省けて、大変
便利です。ぜひご利用ください!

ご質問・お問い合わせ先

南国年金事務所 ☎088-964-1111



▲シヨーン撮影

皆さま、ぜひお越しください。

【問い合わせ先】

馬路村教育委員会
☎0887-44-2216

- 12月17日(火)から20日(金)まで
馬路村就業改善センター
8時30分から17時15分まで
- 12月21日(土)馬路村文化祭
馬路村体育館
10時から16時まで

写真展示会の開催

中芸国際交流団体は、「高知の第一印象」をテーマとした写真展示会を開催します。

中芸地区に住んでいるCIR(国際交流員)とALT(外国語指導助手)が高知に来てから興味をもったことについて感想と写真を展示します。

放送大学 4月入学生募集中

「好きなとき 好きな勉強 好きなだけ」

- ・こんな方は是非放送大学へ
- ・やり残した勉強を一からやり直したい。
- ・定年後にボランティアをやりたい。
- ・そのために役立つ知識を身につけたい。
- ・大学に通う時間はないけれど、大卒資格が欲しい。
- ・自分のペースでじっくり学問をしたい。

【特長】

- 15歳以上ならだれでも入学できます。学力試験はありません。
- 科学・数学、国際・文化、芸術・博物館、市民・社会・コミュニティ、健康・福祉、マネジメント・技術など幅広い分野が学べます。
- 自身の学習目標に応じて自ら学習計画を立てることができ、1科目から学べます。
- 授業は放送授業(BSテレビ231・351ch)が中心ですが、全国で3000を超える面接授業が開講されており、一流講師陣から直接指導も受けられます。

【出願期間】

平成26年2月28日まで

【問い合わせ先】

放送大学高知学習センター
☎088-843-4864



12月・1月 むらの行事予定



12 月	
1 日	バラ風呂
2 月	
3 火	絵本の読み聞かせ(魚梁瀬) 子育てひろば(就業改善センター)10:00~ 有害物収集
4 水	
5 木	人形劇(馬路村就業改善センター)19:00~
6 金	馬路はし拳大会 持久走大会10:45~(馬路小) 14:10~(魚梁瀬小・中学校)
7 土	馬路熊野神社秋の例大祭・こどもみこし祭り(馬路) 舞神業発表会(馬路熊野神社) 安芸地区新人球技大会~8日
8 日	
9 月	
10 火	保育所交流会(馬路保育所) 第3回馬路式お弁当の日 リサイクル収集
11 水	乳児健診(田野町保健センター)13:00~
12 木	ふれあい餅つき(魚梁瀬小・中学校) 子育てひろば(交流センター)10:00~ 健康づくり教室(就業改善センター)18:00~
13 金	古紙収集(魚梁瀬)
14 土	高知まるごと森林の市(森の情報館・エコアス馬路村)~15日 全国訪問おはなし隊(親子で本を楽しむ日) ハミンググループクリスマスコンサート 安芸地区新人球技大会(野球2日目)
15 日	第10回馬路村ピアノ教室発表会(就業改善センター)13:15~
16 月	
17 火	絵本の読み聞かせ(馬路) 子育てひろば(交流センター)10:00~
18 水	1歳6カ月児健診(田野町保健センター)13:00~
19 木	餅つき(馬路保育所)
20 金	職場体験発表会(魚梁瀬中学校)
21 土	馬路村文化祭 馬路村ふれあい祭り(馬路体育館・就業改善センター)
22 日	
23 月	天皇誕生日
24 火	リサイクル収集 職場体験発表会(馬路中学校)
25 水	終業式(村内4校)
26 木	離乳食教室(田野町保健センター)10:00~
27 金	古紙収集(馬路) 子育てひろば(就業改善センター)10:00~ 仕事納め・保育終了
28 土	
29 日	
30 月	
31 火	

1 月	
1 水	バラ風呂 新春走り初めピットリタイムレース(魚梁瀬) 元日
2 木	新春走り初めピットリタイムレース(馬路)
3 金	成人式
4 土	
5 日	
6 月	保育始まり・仕事始め
7 火	絵本の読み聞かせ(魚梁瀬)
8 水	始業式(村内4校) 乳児健診(田野町保健センター)13:00~
9 木	高知県学力定着状況調査(村内4校) 県立巡回図書訪問(就業改善センター)
10 金	子育てひろば(就業改善センター)10:00~ 古紙収集(魚梁瀬)
11 土	
12 日	
13 月	成人の日
14 火	子育てひろば(就業改善センター)10:00~ リサイクル収集
15 水	どんど焼き(魚梁瀬丸山公園)
16 木	健康づくり教室(就業改善センター)18:00~
17 金	
18 土	第32回村民駅伝競走大会
19 日	第33回村内芸能発表会(就業改善センター)
20 月	子育てひろば(就業改善センター)10:00~
21 火	絵本の読み聞かせ(馬路) 第4回馬路式お弁当の日 有害物収集
22 水	
23 木	離乳食教室(田野町保健センター)10:00~
24 金	保育所交流会(魚梁瀬保育所) 県立巡回図書訪問(魚梁瀬多目的施設) 文化財防火訓練 古紙収集(馬路)
25 土	
26 日	第62回高知県市町村対抗駅伝競走大会
27 月	
28 火	子育てひろば(日浦会館)10:30~ リサイクル収集
29 水	
30 木	
31 金	

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
10月	0	1	0	1	2	1	0	3	969
11月	1	1	0	2	1	0	0	1	970

馬 路 777人、354世帯
魚梁瀬 193人、97世帯
(外国人含む)

馬路村特別村民 7,998人
(11月30日現在)



村内あちらこちら



10月13日 馬路地区村民運動会



10月16日 魚梁瀬地区はし拳大会



10月19日 馬路保育所運動会



11月3日 第8回ゆずはじまる祭



11月13日 絵手紙教室(魚梁瀬多目的施設)

村のできごと

10月

- 2日 笑いヨガ&笑い筋体操(就業改善センター)
- 12日 第9回湯けむりピンポンin馬路村
- 13日 馬路地区村民運動会
- 16日 魚梁瀬地区はし拳大会(魚梁瀬多目的施設)
- 18日 古式弓射式(魚梁瀬熊野神社)
- 19日 魚梁瀬熊野神社秋の例大祭
馬路保育所運動会
- 20日 第21回山師達人選手権大会(魚梁瀬丸山公園)

11月

- 3日 第8回ゆずはじまる祭
- 6日 魚梁瀬地区スカッシュバレーボール大会
- 10日 協働の森交流活動
- 11日 職場体験学習(馬路中・魚梁瀬中)(~15日)
- 13日 絵手紙教室(魚梁瀬多目的施設)
- 17日 土佐女子中・高等学校マーチングバンドin魚梁瀬
- 18日 ゆずとりボランティア(馬路中)
- 27日 あきらちゃん&ラーメンちゃん
ファミリーコンサート

編集後記

今年もゆずはじまる祭には、朝早くから多くの人が馬路村を訪れました。

イベント終了後、たくさんのお土産を持って帰る人たちを見送る際、皆さん笑顔で手を振ってくれ、「ありがとう」と言葉をかけてくれました。

もてなすことにより相手が満足し、もてなす側も喜びを感じることが出来る。そして、相手の立場に立つて心温まる応対をするのが、「もてなしの心」の原点です。「もてなしの心」について、改めて考える機会となりました。

(緋)

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010
E-mail umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 株式会社 高知新聞総合印刷